

みずほCustomer Desk Report 2017/11/01 号(As of 2017/10/31)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	113.16 AUD/USD
TKY 9:00AM	113.02	1.1651	131.70	0.9949	1.3210	0.7696
SYD-NY High	113.73	1.1661	132.56	0.9994	1.3289	0.7700
SYD-NY Low	112.96	1.1625	131.52	0.9944	1.3193	0.7640
NY 5:00 PM	113.65	1.1646	132.32	0.9976	1.3284	0.7655
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	7.525/7.845		△25RR	0.740	Yen Call Over	

NY DOW	23,377.24	28.50	債券市場	日本2年債	-0.1600	▲0.5bp
NASDAQ	6,727.67	28.71		日本10年債	0.0710	0.1bp
S&P	2,575.26	2.43		米国2年債	1.5997	2.6bp
日経平均	22,011.61	▲0.06		米国5年債	2.0165	2.1bp
TOPIX	1,765.96	▲4.88		米国10年債	2.3793	1.1bp
シカゴ日経先物	22,225.00	315.00	為替市況	独10年債	-	-
ロンドンFT	7,493.08	5.27		英10年債	1.3320	▲0.3bp
DAX	-	-		豪10年債	2.6690	▲6.1bp
ハンセン指数	28,245.54	▲90.65		USD/CNH	6.6324	▲0.0045
上海総合	3,393.34	3.01		ドルインデックス	94.55	▲0.01
USDJPY 3M Vol	8.20	▲0.15%	商品市況	CRB指数	187.558	0.03
USDJPY 6M Vol	8.84	▲0.15%		NY金	1,270.50	▲7.20
EURJPY 3M Vol	7.68	▲0.03%		WTI	54.38	0.23
EURJPY 6M Vol	8.92	▲0.07%		Dubai Spot	58.79	0.19

東京	前日海外時間のドル売りの流れを引き継ぎ、東京時間オープン前に113円台を割り込むと、一時112.98まで下落。同夕ミンで本邦9月鉱工業生産(速報値)が発表され、市場予想を若干上回ったものの、マーケットの反応は限定的。かかる中、東京時間のドル円は113.02レベルでオープン。日経平均株価が安寄り後、徐々に下げ幅を縮小する動きを横目に、ドル円も113.20近辺まで小幅反発。午後に入り、日銀金融政策決定会合が発表され、金融政策は事前想定通り現状維持を決定。同時に発表された展望レポートでは物価2%目標の達成時期を「2019年度ごろ」に据え置いた一方、2017年度の物価見通しは下方修正(前回+1.1%→今回+0.8%)された。また、2017年度の成長率見通しは若干上方修正(前回+1.8%→今回+1.9%)された。引き続き緩やかなスランプが確認されたことを受けて、ドル円は113.29まで小幅に反応するも、値動きは極めて限定的。その後は113円台前半で小動きとなり、113.03レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は113.03レベルでオープン。黒田日銀総裁が「ファンダメンタルズに即さない円高が続くと景気に悪影響」と発言したことや、月末のドル買い需要等を背景に堅調に推移。113.32レベルでNYに渡った。ユーロは1.1643レベルでオープン、ユーロ圏7-9月期GDP(速報値)が前期比+0.6%、前年比+2.5%(予想:前期比+0.5%、前年比+2.4%)となったものの、ユーロ買いには繋がらず。むしろ、同時に発表された消費者物価指数の上昇率が鈍化(結果:前年比+1.4%、予想+1.5%)したことが意識されてか、1.1625まで小幅に売られ、1.1640レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	NY時間のドル円は113.32レベルでオープン。朝方は米7-9月期雇用コスト指数(EOC)が予想と一致するも前回から上昇したことや、続いて発表された米10月シカゴ購買部協会景気指数、米10月消費者信頼感指数が予想を上回ったことから、113.53まで上昇。その後は狭いレンジでの推移が続くも、ロンドンフィックスに掛けて月末絡みのドル買いが持ち込まれ、113.73まで延伸。午後はFOMCの結果発表を翌日に控えて狭いレンジでの推移が続いた。終盤に掛けてフレディ委員長が一部で遅れると懸念されていた翌日発表予定の下院税制改革法案について、予定通り発表することを改めて明言したがドル円の反応は限定的。結局、113.65レベルでクロスした。一方、ユーロドルは1.1640レベルでNYオープン。朝方は比較的良好な米経済指標結果を受けてユーロドルは1.1627まで下落する。その後は1.1661まで戻す局面があったものの、FOMCを翌日に控えて上値重く推移し、1.1646レベルでクロスした。(NY 井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 山本・西谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月30日	8:50	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・速報	9月	-1.1%/2.5%
	10:00	中 製造業/非製造業PMI	10月	51.6/54.3
	-	日 日銀金融政策決定会合	-	52.0/-
	15:30	日 黒田日銀総裁 会見	-	-
	19:00	欧 GDP(前期比/前年比)・速報	3Q	0.6%/2.5%
	19:00	欧 CPI(前年比)	10月	1.4%
	21:30	米 雇用コスト指数	3Q	0.7%
	22:45	米 シカゴ購買部協会景気指数	10月	66.2
	23:00	米 消費者信頼感指数	10月	125.9

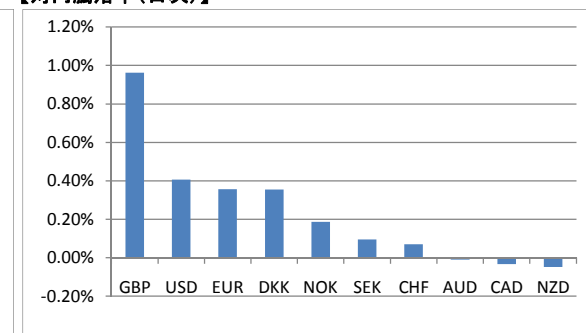
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月1日	10:45	中 Caixin製造業PMI	10月	51.0
	14:00	日 中曽日銀副総裁 講演	-	-
	18:30	英 マークイット製造業PMI	10月	55.9
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-	-4.6%
	21:15	米 ADP雇用統計	10月	200K
	22:45	米 マークイット製造業PMI・確報	10月	54.5
	23:00	米 ISM製造業景況指数	10月	59.5
11月2日	3:00	米 FOMC	-	1.00-1.25%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.00-114.30	1.1590-1.1700	131.50-133.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は底堅く推移した。欧州時間序盤、ドル/円は売りが先行し113円を割り込む場面も、同水準では押し目買いが入ると米債利回りにを横目に反発、東京時間高値113.29円を抜け買いが優勢の展開。米10月シカゴPMIや米10月消費者信頼感指数が市場予想比良好な結果となったことや、トランプ大統領が「税制改革はクリスマスまでの実施が目標」、「法人税引き下げの段階的導入は検討していない」とコメントしたこともドル買い材料とされ、ドル円は一時、113.73円まで上昇した。本日は、方向感の出にくい展開を見込む。本日深夜(明日未明)にFOMC、その後に予想されるFRB次期議長発表を直前に控え、市場は様子見姿勢が強く、東京時間は113円半ばを中心とした小幅推移となりそうだ。